

建設事業評価表（令和4年度）

I. 建設事業の目的体系

事業No.: 333

1	事業名	公園緑地築造事業	コード	01	08	04	02	02	-
2	担当部課	都市建設部	都市整備課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	03 緑豊かなまちを守る						
		施策の展開方向	③ 公園・緑地の整備						

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	地域住民及び公園利用者							
2	働きかける相手(対象)	公園施設等							
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地区住民の利用に供する身近な公園を整備することで、良好な居住環境の形成を図ります。							
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	上鏡田公園築造工事	(仮称)春木中学校東広場整備工事					
		工事期間	令和2年度～令和6年度	令和4年度～令和6年度	～				
		全体工事概要	公園築造工事 A=5,500㎡	広場築造工事 A=5,000㎡					
		評価年度の実施内容		境界確定測量 A=8,900㎡ 不動産鑑定 N=6筆 現地測量 A=10,000㎡					
		予定全体事業量[A]	5,500.00 ㎡	5,000.00 ㎡	㎡				
		評価年度までの事業量[Σa]	105.00 ㎡	140.00 ㎡	㎡				
		事業量の進捗率[Σa/A]	1.9 %	2.8 %	%				
		予定全体直接事業費[B]	325,634,000 円	178,194,500 円	円				
		評価年度までの直接事業費[Σb]	6,270,000 円	5,065,500 円	円				
		事業費の進捗率[Σb/B]	1.9 %	2.8 %	%				
		評価年度の事業量[a]	0.00 ㎡	140.00 ㎡	㎡				
		評価年度の直接事業費[b]	0 円	5,065,500 円	円				
事業量1単位当たり直接事業費[b/a]	0 円	36,182 円	円						
5	直接事業費計	前年度決算額	112,294,600 円	決算額	5,065,500 円				

6 コストの 推移	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	直接事業費①(②+③+④)	112,294,600	5,065,500	346,131,000
	一般財源②	31,494,600	5,065,500	88,831,000
	起債③	80,800,000	0	257,300,000
	その他④	0	0	0
	概算人件費⑤	5,912,548	7,545,849	
	総合計(①+⑤)	118,207,148	12,611,349	
	町費投入額(②+③+⑤)	118,207,148	12,611,349	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)		上鏡田公園築造工事	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		
工事・路線名 (2)		(仮称)春木中学校東広場整備工事	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		
工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

建設事業評価表（令和4年度）

I. 建設事業の目的体系

事業No.: 334

1	事業名	道路新設改良事業	コード	01	08	02	03	01	-
2	担当部課	都市建設部	都市整備課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人			
2	働きかける相手(対象)	道路			
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。			
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	藤坂・涼松2号線	榊池・東郷中央線	新池・春木台線
		工事期間	令和元年度～令和6年度	令和2年度～令和4年度	令和3年度～令和7年度
		全体工事概要	用地取得地権者 1名 取得面積 105.91㎡ (土地開発公社先行取得)	工事延長 L=774m	工事延長 L=400m 用地取得地権者 27名 取得面積 2,830㎡
		評価年度の実施内容	償還金支出 A=21.18㎡	工事延長 L=140m	調整池予備設計 N=1箇所 境界確定測量 A=22.5千㎡ 物件調査 N=11件 土地評価 N=24筆
		予定全体事業量[A]	105.91 ㎡	774.00 m	400.00 m
		評価年度までの 事業量[Σa]	74.14 ㎡	774.00 m	25.44 m
		事業量の進捗率 [Σa/A]	70.0 %	100.0 %	6.4 %
		予定全体 直接事業費[B]	9,694,242 円	185,460,000 円	512,741,500 円
		評価年度までの 直接事業費[Σb]	6,804,123 円	185,460,000 円	32,613,900 円
		事業費の進捗率 [Σb/B]	70.2 %	100.0 %	6.4 %
評価年度の事業量[a]	21.14 ㎡	140.00 m	18.22 m		
評価年度の 直接事業費[b]	1,935,133 円	67,141,800 円	23,365,100 円		
事業量1単位当たり 直接事業費[b/a]	91,539 円	479,584 円	1,282,387 円		
5	直接事業費計	前年度決算額	229,143,046 円	決算額	199,466,734 円

6 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	直接事業費①(②+③+④)	229,143,046	199,466,734	243,765,000
	一般財源②	115,020,046	48,429,734	48,965,000
	起債③	93,000,000	140,300,000	147,100,000
	その他④	21,123,000	10,737,000	47,700,000
	概算人件費⑤	21,285,172	16,680,298	
	総合計(①+⑤)	250,428,218	216,147,032	
町費投入額(②+③+⑤)	229,305,218	205,410,032		

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)		藤坂・涼松2号線	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		
工事・路線名 (2)		榊池・東郷中央線	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		
工事・路線名 (3)		新池・春木台線	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

建設事業評価表（令和4年度）

I. 建設事業の目的体系

事業No.: 335

1	事業名	道路新設改良事業	コード	01	08	02	03	01	-
2	担当部課	都市建設部	都市整備課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人			
2	働きかける相手(対象)	道路			
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。			
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	東蚊谷線	東蚊谷2号線	木戸畑・百々線
		工事期間	令和3年度～令和4年度	令和4年度～令和4年度	令和3年度～令和6年度
		全体工事概要	工事延長 L=83.9m 用地取得地権者3名	工事延長 L=52.0m 用地取得地権者1名	工事延長 L=131.9m 用地取得地権者4名
		評価年度の実施内容	工事延長 L=83.9m 詳細設計 L=83.9m 用地取得 A=85.46㎡ 不動産鑑定 N=3筆 分筆登記 N=3筆	工事延長 L=52.0m 詳細設計 L=52.0m 境界確定測量 A=89㎡ 不動産鑑定 N=1筆	予備設計 L=131.9m 地質調査 N=1箇所 不動産鑑定 N=4筆 用地幅杭打設 N=4筆
		予定全体事業量[A]	83.90 m	52.00 m	131.90 m
		評価年度までの事業量[Σa]	83.90 m	52.00 m	15.70 m
		事業量の進捗率[Σa/A]	100.0 %	100.0 %	11.9 %
		予定全体直接事業費[B]	37,758,131 円	41,300,600 円	105,526,405 円
		評価年度までの直接事業費[Σb]	37,758,131 円	41,300,600 円	12,582,405 円
		事業費の進捗率[Σb/B]	100.0 %	100.0 %	11.9 %
評価年度の事業量[a]	83.90 m	52.00 m	7.00 m		
評価年度の直接事業費[b]	32,468,231 円	40,013,600 円	5,589,705 円		
事業量1単位当たり直接事業費[b/a]	386,987 円	769,492 円	798,529 円		
5	直接事業費計	前年度決算額	229,143,046 円	決算額	199,466,734 円

6 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	直接事業費①(②+③+④)	229,143,046	199,466,734	243,765,000
	一般財源②	115,020,046	48,429,734	48,965,000
	起債③	93,000,000	140,300,000	147,100,000
	その他④	21,123,000	10,737,000	47,700,000
	概算人件費⑤	21,285,172	16,680,298	
	総合計(①+⑤)	250,428,218	216,147,032	
	町費投入額(②+③+⑤)	229,305,218	205,410,032	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)		東蚊谷線	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		
工事・路線名 (2)		東蚊谷2号線	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		
工事・路線名 (3)		木戸畑・百々線	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

建設事業評価表（令和4年度）

I. 建設事業の目的体系

事業No.: 336

1	事業名	下水道建設事業	会計	下水道事業会計
2	担当部課	経済環境部	下水道課	
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】	
		基本施策	04 良好な住環境をつくる	
		施策の展開方向	② 下水道の整備・維持管理	

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	下水道認可区域内の地権者及び町民			
2	働きかける相手(対象)	下水道認可区域内の受益地			
3	どのような状態にしたいのか(意図)	公共用水域の水質を改善することにより、町民生活の環境衛生の向上を図ります。			
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	建設事業		
		工事期間	平成元年度～令和5年度		
		全体工事概要	事業認可取得区域・市街化区域562haの公共下水道の整備		
		評価年度の実施内容	整備面積2.7ha 整備延長1.11km 接続件数265件		
		予定全体事業量[A]	562.00 ha		
		評価年度までの事業量[Σa]	501.50 ha		
		事業量の進捗率[Σa/A]	89.2 %	%	%
		予定全体直接事業費[B]	25,750,540,000 円	円	円
		評価年度までの直接事業費[Σb]	16,373,282,397 円	円	円
		事業費の進捗率[Σb/B]	63.6 %	%	%
		評価年度の事業量[a]	2.70 ha		
評価年度の直接事業費[b]	49,390,000 円	円	円		
事業量1単位当たり直接事業費[b/a]	18,292,593 円	円	円		
5	直接事業費計	前年度決算額	12,598,300 円	決算額	49,390,000 円

6 コストの 推移	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	直接事業費①(②+③+④)	12,598,300	49,390,000	32,310,000
	一般財源②	5,017,500	0	24,720,700
	起債③	5,500,000	32,200,000	0
	その他④	2,080,800	17,190,000	7,589,300
	概算人件費⑤	10,700,624	13,521,110	
	総合計(①+⑤)	23,298,924	62,911,110	
町費投入額(②+③+⑤)	21,218,124	45,721,110		

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	建設事業	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES <input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES <input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	部田山汚水中継ポンプ場において流出ゲート更新工事及び耐震補強工事を施工しました。	
3 建設事業評価コメント	公共用水域の水質改善が急務とされているため、下水道整備を早急に行う必要があります。下水道事業についてコスト縮減意識を持って実施設計を行い、未整備地区を中心に整備を推進します。	

工事・路線名 (2)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input type="checkbox"/> YES <input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input type="checkbox"/> YES <input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

工事・路線名 (3)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input type="checkbox"/> YES <input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input type="checkbox"/> YES <input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	社会資本整備総合交付金の縮減に伴い下水道事業費の確保が困難なため、関係機関と協議しつつ、工法及び施工方法等を検討しコスト縮減に努めます。
------------------	--